



しみず ゆか
清水 優香 さん

●戸奈良小6年
声優になりたい



私の将来の夢は声優になることです。

以前、テレビで声優の仕事を見たとき「声だけで泣いたり笑ったりできるなんてすごい、私も将来声優になりたい」と思いました。

声優は簡単に就けるような仕事ではありません。役がらにあった声を出せるようになるために、たくさんの努力をしなければならないそうです。

私は一生懸命に勉強してこの夢をかなえたいと思います。声優になって、たくさんの人に笑顔と感動を届けたいと思います。

「さのまる音頭」の振り付けが完成しました♪



佐野ブランド大使・ダイヤモンド☆ユカイさんの作詞・作曲の「さのまる音頭」に、この度、ユカイさんの提案により振り付けが完成しました。

この振り付けは、公募の後、ユカイさんやブランド認証委員会などのご意見を取り入れながら、最終的に松涛流春芙二会の松涛春芙二さんに仕上げていただいたものです。

誰にでも踊れるような楽しい振り付けになりましたので、市民の皆さんもぜひ踊ってください。

踊りは、さの秀郷まつり初日10日(土)の午後5時20分から市役所建設予定地前の駅前通りで披露します。また、同日午後7時からの市民総おどりのなかでも取り入れます。ぜひお越しください。

※市ホームページ (<http://www.city.sano.lg.jp/pr-tv/20130704.html>) で公開しています

■問合せ 観光立市推進室 ☎(27)3012



今回の表紙「向日葵」(富岡町) 7月19日撮影

「あこがれ」「熱愛」「愛慕」「光輝」「敬慕」「あなただけを見てる」といった情熱的な花言葉を持つ向日葵。今年も市内各地で、熱い日差しの中、大輪の花を咲かせています。

これから暑い日々が続きます。水分をしっかり取り、冷房などを適切に使用し、熱中症に注意しましょう。

みのわだやすこ
簗和田泰子さん
 (牧町)



○プロフィール

保育園に23年間勤める。社会福祉協議会に2年勤務し、旧安蘇郡年金者退職者連盟会長、年金者連盟安蘇支部女性部長を歴任。現在、上牧親睦会(老人会、会員41名うち男16名・女性15名)の会長を務める。



人と人が交わる
 大切さ

今年の4月から女性初の老人会の会長として活躍されている簗和田さん。いまでこそ「共稼ぎ」というのは普通のことでしょうが、彼女の年代の方が家庭と仕事を両立するのは大変なことだったと思います。長い間、仕事を通し、地域とかかわり、今なおボランティアで地域にかかわる簗和田さんです。

「ふるさとの素晴らしい風物や伝統文化・習慣が忘れられ、心のよりどころを失いつつあるのではないかと考えられる今、生活の中から心の豊かさを養い、祖父母から父母へ、父母から子へとそれらを伝えるのも高齢者の役割ではないでしょうか」「それには人と人との交わりこそが大切です。いまの社会は外出の機会が少なく、社会との接点を失いがちです。出来るだけサロンと取り組み、健康管理や交通安全、介護予防や日帰り旅行などに参加し、楽しむことが長寿の秘訣とっています。さまざまなお研鑽を深め、女性の視点を活かした親睦(老人)会会長として努力したいと思います」と話してくださいました。

老人会の皆さんで楽しんだ花見。牧町では秋山川沿いに見事な桜が咲きます。



自ら高齢者と言いつつ、いろいろなことにチャレンジする気持ちをお持ちの簗和田さん。今まで男性色が強かった組織の中で、新たに「女性でも出来ることをやってみよう」と会長を引き受けられたと謙虚に話してくださいました。彼女を見て、こんな風に歳を重ねられたら素敵だな、と嬉しくなりました。

平均年齢がますます高くなっています。今後、それぞれの立場で高齢者の方にも活躍していただきたい、と強く願ってやみません。

(市民記者 葛貫郁子)

市長からの
 メッセージ



6月21日、京都「三千院」のご門主・小堀光詮様が逝去されました。91歳でした。ご門主は、佐野ふるさと特使や市政功労者であり、私も6月25日の密葬、7月31日の本葬に参列させていただきました。三千院の本堂には深い悲しみが漂い、庭園にはいつ終わるともない焼香者の列が続きました。本当に惜しい方を亡くしたと、残念でなりません。

顧みますと、小堀ご門主は佐野で過ごされた旧制小中学校の9年間の思い出を、楽しそうに話していらつしやいました。遠く京都に移られてからも、いつも佐野のことを気にかけて、市民の皆さんが京都バスの旅などで三千院を訪れた際にはお忙しい時間をさいて、気さくに面談してくださいました。また、市へ20年以上にわたり多額のご寄付もいただきました。ご門主の慈愛あふれる笑顔を忘れられない方も多いことでしょう。

小堀ご門主は、深い学識をお持ちでありながら、その神髄を分かりやすくユーモアを交えて話してくださいました。「忘言利他」「隅を照らす」など、いくつも忘れられない言葉があります。人生の師として、かけがえない方でありました。心からお悔やみを申し上げます。

さて、今月、市内では夏祭りが行われます。4日の「たぬまふるさと祭り」、10・11日に「さの秀郷まつり」、24・25日「くずう原人まつり」と続きます。また15日には第20回の節目となる三龜山「大文字焼き」もあります。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。暑い日々が続いています。こまめに水分補給をして、今年の夏を乗り切りましょう。

岡部 正英

